

夕張市議会だより

2013年2月1日

第19号

議会運営委員会

平成24年第4回定例市議会

第4回定例市議会は、平成24年12月19日から20日までの2日間を会期として開催されました。

付議されたものは、議案4件・諮問1件・報告4件に加え、追加議案1件・意見書案1件の審議を行いすべて原案通り可決いたしました。

一般質問の

内容と答弁

厚谷 司議員質問

◎夕張市総合計画について

■質問

(1) 平成19年度以降、第四次総合計画の位置付け、また「基本計画」の見直し対応は。

(2) 市民にまちづくりの指標を示すため、平成25年度は次期「総合計画」策定に向けた市長の考えは。

■答弁

(1) 現在夕張市は財政再

生団体であることから総合計画の推進は難しい状況。財政再生計画が大前提となっている。

(2) 次の総合計画策定に向けた検討を行うことは考えていないが、「やらなければならぬものはやる」との思いでひとつひとつの課題を着実に解消していきたい。

◎冬期間の停電及び計画停電に対する市の対応について

(1) 今後、計画停電が行われた場合の市の準備・対応について

(2) 冬期、長時間停電に対する市の対策は

■答弁

(1) 今夏は全庁において所管業務への影響を調査し対応を協議したところ。特に教育施設・福祉分野における課題が多かったが、それぞれ計画停電に備えた対応は万全を期したところであり、今後も同様の対応を行いたい。

(2) 停電災害に対する日頃からの備えの必要性を認識したところであり、あらためて広報一月号で周知したい。(掲載済)

避難所を開設した場合、市で備蓄している電源を必要

とし、ないポータブル石油ストーブ、消防署・消防団ポンプ車両に配備している発電機14機を配置し、寒さ対策を講じたい。

また11月には近隣8自治体で「南空知災害時相互応援に関する協定」を締結、また市内の建設機械をリースする3社とも協定を締結し、災害時に移動式暖房機や仮設トイレなどを優先的に借用できることとなった。

大山修二議員質問

■質問

◎東京都との連携について

(1) 今後の東京都との連携について。

(2) 東京都から無償譲渡されたノンステップバスについて。

(3) 今後のノンステップバスの譲渡要請について。

《質問趣旨》

○東京都が石原都政から猪瀬都政に変わったことによる今後の連携の考え方について。

○ノンステップバスの運行開始による運行事業者及び利用者の反応について。

○今後の譲渡要請は、東京都の状況次第であるのは理

解するが、夕張市として次の譲渡要請の考えについて。

■答弁

(1) 東京都との連携については、今後さらに強化が図られれば夕張再生のための大きな成果が得られると考え、この連携を継続していきたい。また、継続的な取り組みとして①東京都の知事本局に夕張支援窓口の設置②東京都庁での夕張観光物産展の開催③東京都から理事及び主幹の職員派遣、さらに今年度は東京都の高校生夕張キャンプによる交流や都営地下鉄車内での夕張観光PRの実施、そしてノンステップバスの無償譲渡等夕張市にとつて多くの成果を得ることができた。近々猪瀬知事と面談して今後の連携強化について要請したい。

(2) ノンステップバス運行の反応については、特に高齢者の皆様から「従来のバスより乗り降りがしやすい」という声を伺っているところ。また、運行事業者からは、なかなか車輛の更新ができない中で市民の皆様には喜ばれる車輛を運行できることはとても有り難いということをもっている。

夕張市議会では議会の活動を多くの市民の皆様にお伝えするために、「議会だより」を発行しています。また、市役所本庁・南支所及びふれあいサロンにも配布しております。ご意見・ご感想は議会事務局までお寄せください。

夕張市議会事務局
本町4丁目市役所内
電話 52-3172
ファクス 52-2228

■編集委員	委員長 小林尚文
委員 副委員長 大山修二	委員 熊谷桂子
委員 委員 島田達彦	委員 厚谷

(3) 今後のノンステップバス
の譲渡要請については、何よりも東京都の事情によるところが大きいと考えている。まずは、冬季間の運行状況等を検証しながら有効に活用し、そして東京都に対しても活用の成果をしっかりと示すことが必要と考えている。

小林尚文議員質問

■質問

◎夕張市の農業振興策について

- (1) 新たに設立した農業振興協議会では、どのような協議がなされてきたのか
- (2) 市・国・道との三者協議における農業政策をどのように反映させていくのか
- (3) 農業の6次産業化をどのように考えているのか
- (4) 道の駅の取組みと今後の課題について

《質問趣旨》

○農業振興協議会の具体的な内容と進捗状況について。
○今年度開催された三者協議において解決済みとなった農業政策の取組みについて。

○6次産業化の可能性を踏まえ、どういことが夕張農業にとって有益と認識して

いるのか。
○道の駅の設置者として、これを充実させるための取組みと課題について。



11月14日には全議員で市内視察を行いました。(写真は道営住宅視察です)

■答弁

(1) 協議会では、外国人実習生などの住宅確保の要望や、メロンの生産に関わる市道及び作業道の補修対応等を協議し、作業道については平成25年度から実施の予定。

また、除雪車による排雪等でメロンハウスへの支障を来たさない等の協議、その他、鳥獣害対策やメロンの販売店に対する消費者からの苦情等に対応していきたい。

(2) 三者協議における農業政策では、担い手対策やハウス等の増設・充実に対する市単独の利子補給制度を創設し、また、地域おこし協力

隊制度の活用等に取り組んでいる。

(3) 6次産業化については、夕張農業にとり有効であり生産者が加工・販売に取組むための補助や融資の制度があり、農業振興協議会等を通じ周知に努めたい。

(4) 道の駅については、観光振興や地場野菜の直販等貴重な施設であり、イベントの充実や夕張メロンの販売時期以外の集客等課題もあり道の駅運営協議会と共に解消していきたい。

熊谷桂子議員質問

◎『安心・安全のまちづくり』について

■質問

(1) ハザードマップ作成の進捗状況、停電時、概要を知らせる方法は

(2) 「市立診療所の建て替15年先延ばし」報道と、透析科の開設について

(3) 介護予防事業の参加率上昇へ創意工夫を

(4) ワンストップ窓口の設置、周知を

■答弁

(1) ハザードマップは国・道との三者協議の中で、重要性について認識し協議中。被害

の低減にもつながるので、関係団体と連携し取り組み、急を要する危険箇所については、何らかの形で周知したい。

冬期間の長時間の停電は命にかかわるので、緊急を要する場合は広報車で告知をする等、対策を構築する。

(2) 今年度中に医療保健対策協議会で結論を出したの選択肢。透析科についても、協議会の最終答申を踏まえ、市が結論を出す。

(3) 引き続き家庭訪問やチラシ等で情報提供や、民生委員の見守り等の継続、予防事業参加に向け、工夫をしたい。

(4) あらゆる相談に対応する窓口を保健福祉課に設置し、各課と連携をはかり、関係機関・地域の連携で対応している。周知不足を反省し、今後改善したい。

◎地域資源の活用について

■質問

(1) 地域の自然エネルギーを活用し、雇用創出を

■答弁

(1) 国や道の積極的推進を求めている。他に豊富な未利用地下資源、石炭や天然ガスなどについても、補助事

業の創設や、技術革新に向けた実証実験の継続・調査研究機関の誘致などを求め、他の産炭地とも一致して、訴えを継続していく。

◎ダム周辺整備について

■質問

(1) シューパロダム周辺整備として、市民の貴重な資料・標本、写真などを活用・掲示できるような施設を。

■答弁

(1) ダム管理事務所のトイレを見学者のために一般開放する予定。湖面活用については、安全に使用できる場所の選定・協議を行っている。ダム管理事務所の一部を活用して、地域の歴史・貴重な自然の資料等を展示し、見学できるような要請し、検討中。

議会事務局の電話番号は

52-3172です。

なお、事務局職員が不在となることがありますので、その際は、恐れ入りますが、

市役所代表電話**52-3131**

までお願いいたします。